

高台だより

H26年10月号
No.356
発行責任者 栗原千秋
会員326世帯
全369世帯
ホームページは
taka-dai.info
自治会誌
昭和61年4月
手をつなごう
高台自治会で
背景は紅葉

秋の公園清掃にご協力を

10月26日(日)に実施

高台には公園が10か所あり、そのうち5か所の公園があり高台の皆さんの憩いの場となっています。公園の管理は市からの委託で住民が担当することになっていて、春と秋の2回公園清掃をします。

秋の清掃は**10月26日(日)**10時からです(小雨決行)。ブロック別担当は下表のようになりますので、皆さんの積極的な協力をお願いします。なお公園の担当の方は、ト(東側)の公園部分も範囲に含まれますのでお願いします。軍手などをお持ちいただき、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

公園	2号	3号	4号	5号
リーダー	塚崎	三原	大崎	中西
担当	1, 2	9~	15~	3
ブロック	4~6	14	21	7, 8



昨年秋の清掃風景：左上から時計回り、2号公園・3号公園・4号公園・5号公園

部会等報告

スポレク

「第52回市民大運動会」は、10月5日(日)少し雨模様を心配する中、第5小学校で高台から100名が参加して行われました。小学生玉入れ2位など健闘しました。準備・運営いただいた皆さん、選手、子ども会の役員、応援の皆さんお疲れまでした。(写真上からリリー・ボール・紅白玉入れ・豊姿式)



美化衛生

「ご家庭で出たビールやジュースのアルミ缶を回収し、業者へ引き取ってもらい、代金を自治会の収入としています。その代金は直近2か月で1万6千円になっています。アルミ缶類は、都度高台集会所横のポリバケツに漬けて入れていただくか、第3水曜日の故紙回収日(10月22日)に袋に入れてお出しただけでも構いません。分別収集日(10月20日)の水曜日に自治会の収入にはなりませんのでご注意ください。これから協力よろしくお願いします。



福祉

今年も「赤い羽根共同募金」をお願いします。10月26日(水)までブロック委員までお持ちいただければと思います。お預かりしたお金、年末助け合い募金として分け、それぞれの団体にお渡します。



高台バスツアー

隔年実施の「高台口帰りバスツアー」が**1月30日(日)**行われます。行先は和歌山で、「和歌山城」「和歌山マリーナシティ」「黒潮市場」「ホルトヨロツバ」「和歌山湾岸線」などをまわります。参加募集していますが、まだ余裕があります。1希望の方はブロック委員または中西(052-32800)小島(052-32800)まで。



長岡京最大の催し「ガラシャ祭」のガラシャウィークが、11月1日(土)から9日(日)まであります。とくに9日(日)は12時30分から「行列巡行」があり、古墳時代の継体天皇から鎌倉時代の熊谷次郎直実、江戸時代の桂昌院まで、長岡ゆかりの歴史上有名な行列があります。また勝竜寺の細川忠興に嫁いだ明智光秀の娘「お玉(後のガラシャ)」のお輿入れを再現した行列も行われます。到着地の勝竜寺城公園では「楽市楽座」や寺宝公開などがあり、また期間中パンピオ、産業文化会館、中央公民館などで、各種イベントが行われます。詳細については、各戸に配られた市からのパンフをご覧ください。



防犯防災

「10-16」運動が行われています。これは各家庭の門灯や玄関灯、また道路の防犯灯(街頭の蛍光灯)をつけて街を明るくし、防犯を推進するものです。この運動は、長岡京市ばかりでなく全国規模で行われています。この機会に、門灯や玄関灯を見直し、自動点灯にする、球切れのないLEDランプに替えるなどをお考えいただければと思います。なお「防犯灯」が切わかかっている場合は、直接市の危機管理担当まで防犯灯に付けられた番号を連絡ください。

ふれあいサロン

第100回「ふれあいサロン」を**10月27日(月)**14時から、なほり会館で行います。今回は川端康成の東体験の小説を映画化した「伊豆の踊子」です。これまでの回映画化はなかったが、その中で昭和38年吉永小百合主演作品を鑑賞します。初々しい小百合さんと伊豆の山並みにノスタルジアがこみ上げてきます。観賞後喫茶や酒類を楽しみながら歓談したいと思います。

お知らせ

★「出陣ミーティング」は、市の担当者が向いて講演・説明いただくもので、住民の皆さんの関心の高いものを実施しています。今年広島で大きな災害があったこともあり「災害に強いまちづくり」をテーマに、**11月10日(月)**19時からさくら会館で行います。高台地区もハザードマップで土砂災害の心配がいられています。多数ご参加ください。

★自宅の新築・改築を考へておられる皆さん、また近隣で新築・改築があることを知られた皆さんへのお断りです。高台では、住宅建築がある場合、建築主と建築業者への「要配慮事項」の文書を用意しています。10月には、作業時間・駐車・騒音・後始末などについての要配慮事項を記しています。

★「敬老会食懇談会」と「古稀お祝いの会」が、今年も**11月14日(金)・15日(土)・16日(日)**の3日間に分けて、12時からさくら会館で行われます。ぜひご参加ください。お断りです。今年古稀を迎えられた18名を念のため207名の皆さんには、既に案内状をお送りしています。案内状に添付の申込用紙でエントリーください。多々のお断りをお待ちしています。



昨年の敬老会食懇談会

◆この年度下期の自治会会費18000円を**10月末まで**にブロック委員が集金にお伺いいたしますのでよろしくお願い申し上げます。

★この年度下期の自治会会費18000円を、11月10日(月)19時からさくら会館で行われます。高台地区もハザードマップで土砂災害の心配がいられています。多数ご参加ください。

オトナリ言



3丁目 堀原英一

私が若かった頃、ふとしたことから「能面」に興味を持ち先生にお願いして教えてもらってになりました。しかし左利きの私は怪我をするからなかなかお許しができませんでした。工具はすべて右利きになってきているからです。若年の末、やっと人並みに工具が使えるようになったので、能面を作りました。能面を作ることを「打つ」といいます。打つという言葉を打たれて作るイメージですが、なせ木彫を打つというかは、室町時代の作家が従来の仏師とは別の系統であることを誇示したためといわれています。そして能面打師は後世いつかこの「中間表情」という技法を創作しました。人はよく無表情な人のことを「能面のような人」と形容しますが、中間表情をした能面は、無表情に見えます。しかしわずかな面の動きで、喜びや悲しみなどに変化して見えます。面を手にとつてやや上向かせる(フランス語)と笑ったように、面をやや下向かせる(クモラス)と泣いたように見えます。能面は、能についていくな話も残っています。昭和34年フランス文化使節が来日した際、能を見て「死ぬほど面白かった」と放言して物議をかもしました。さらに彼は「犯罪者を刑務所に入れるように懲罰的だ」とつけ加えました。ところがその翌年フランスの国立劇団「メテオ・フランス」が来日して能を見た時「死ぬほど感動した」と興奮したそうです。これはいついつの間にか、能は一種の文化として無愛想な芸術で、自分からすすんで見ようという態度が必要で、鐘を撞木でたたき強くなれば大きく鳴るのと同じで、能はまた現在ではなく過去を演じている不思議な演劇です。死者が自分の過去を既に完結した人生を、一人で静かに物語ることが中心になっています。能を見ていて眠くなることもありますが、それはしばらくの間、ゆめの中の世界に遊んでいると同じです。皆さんも一瞬楽しんでみてください。



クモラス テラス

今月号のめあて

会員動向